

## 授業報告

### 3年女子体育祭ダンス

—1年生からの授業での取り組みについて—

丸岡 初枝

Hatsue MARUOKA

#### 1. これまでの流れ

平成元年より体育祭のプログラムに加わった団体演技は、全生徒が日頃の体育授業の成果を発表するという目的で実施されていた。しかし、体育祭で団体演技を発表する為の練習に費やされる時間の多さや生徒の取り組みに対するモチベーションの低さなど、問題点も多かったのが現状である。そこでそれらの問題点の改善策として、全学年による実施をやめ、3年間の体育授業の集大成という意味合いを含めて、第3学年の男女が行うというスタイルに変更した。(平成6年より実施され現在に至る。)

それまで実施されていた女子のダンスは、選曲・衣装・振り付けなどすべてが教員主導型の作品だった。学年全体が統一された動きで同じ衣装を着て踊る為、まとまった作品にはなるが、生徒の意志は反映されず、踊り終わった後の生き生きとした姿を見ることは出来なかった。

『生徒の自主的な活動を通じて、踊り終わった後の達成感や満足感が得られるような取り組みにしたい』日頃の授業成果の目的をこの点に置き、各学年で行う創作活動を通して創作のテクニックやグループ内での役割分担、作品を完成させる楽しさなどを経験できるようなカリキュラムを考え実践することになった。

現在行っている女子ダンスのスタイルが定着するまで、約10年の歳月がかかったが、今では体育祭で発表するダンスへの意識も高まり、各学年で取り組んでいる創作活動も、3年生で実施するダンスに繋がっているという意識も芽生えてきていると思われる。

そこで今回は、どのような過程を経て体育祭のダンスが発表されているのか、各学年で行っている創作活動の授業内容を紹介してみたい。

## 2. 1年生で行う創作活動の紹介

内 容 : 新体操 (ボール演技)

授業時数 : 10時間

単元の目的 : ①ボールを使つての新体操の技を習得する。  
 ②①で習得した技の組み合わせをグループで考え、曲に合わせて発表することが出来る。  
 ③創作活動において、自分の意見や考えを、グループのメンバーに伝えることができ、個々から出された意見をまとめる事ができる。

授業計画 : ①投げ技・転がし技・柔軟性を使つての技・回転技・弾み技などを個々に練習する。(曲は使用しない) …………… 3時間  
 ②①で習得した技を曲に合わせて一連の流れで動けるようにする。  
 (テスト内容) …………… 2時間  
 ③グループに分かれて創作活動 …………… 4時間  
 ④発表 …………… 1時間

授業時の工夫 : ①②の曲と動きの組み合わせは教員が考え、生徒の創作活動の見本になるや留意点 ようなものにする。  
 ②創作の曲の長さは1分30秒～2分程度のもので、指定した3曲の中から選択し、創作させる。  
 ③習得した技の組み合わせで作品をまとめ、必ずグループの特徴が出るような動きや隊形、パフォーマンスを入れるように課題を与える。

まとめ : 生徒同士の人間関係が希薄な状態で行う創作活動の為、自分の意見が上手に言えない生徒が多く、また出てきた意見をまとめるリーダー役の生徒も不在な為、作品の仕上がりに時間がかかる班が多い。しかし苦勞しながらも白紙の状態から一つのを完成させる事の喜びをグループで体験できたかどうかを自己評価させることで、2年生で行う創作ダンスへとつなげていくことが出来ると思われる。

## 3. 2年生で行う創作活動の紹介

内 容 : 創作ダンス (舞台発表)

授業時間 : 13時間

単元の目的 : ①テーマに沿った動きを見つけ出し、照明や衣装を工夫して表現する。

- ②自分の意見や考えやイメージを、グループのメンバーに伝えることができ、個々から出された意見をまとめる事ができる。
- ③各係の仕事を責任を持って遂行することが出来る。
- ④一つの作品を仕上げることを通じて、達成感や満足感を味わう。

- 授業計画 :
- ①過去の作品をビデオで鑑賞し、表現活動を理解する。  
グループを作り、各係を決める。…………… 1時間
  - ②運動量確保の為、必ずウォーミングアップとして曲に合わせてボディーコントロールの練習をする。また、その動きを少しずつ表現運動に変化させ、創作の参考になるような動きを取り入れて行う。(約15分程度)  
残り時間は、テーマ探しと曲選びといった話し合いの時間とする。  
…………… 3時間
  - ③曲に合わせて動きを作る。(班の中で分担して創作するケースが多い)  
…………… 6時間
  - ④証明案や衣装案を話し合い、出来上がった作品の総合的練習を行う。  
…………… 1時間
  - ⑤舞台発表…………… 1時間
  - ⑥ビデオ鑑賞…………… 1時間

- 授業時の工夫や留意点 :
- ①今回の課題は、テーマに沿った動きを見つけて身体で表現することができる事である。その為動きのカッコ良さやダンス的ステップなどにとらわれることなく自由な発想で表現できるようなアドバイスを各班に行う。
  - ②表現したい内容にあった曲選びができるようにアドバイスする。特に効果音の使用や無音で踊る事も、表現活動には効果的であることをアドバイスする。
  - ③必ず一人一つの係につき、責任を持ってその仕事を行う。  
(班長・衣装係・照明係・音楽係)
  - ④評価についてはなるべく客観的な評価ができるように、発表時に生徒にも4段階で評価をつけてもらう。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>a. テーマにあった動きができていましたか。</li> <li>b. 班の独創性を感じましたか。</li> <li>c. 動きが大きくそろっていましたか。</li> <li>d. 生き生きと演技している様子が伝わってきましたか。</li> </ul> |
|--|

- ⑤照明の操作は、3年生の女子体育担当になった教員が行う。  
(3学期の授業がないため)

まとめ : 授業の最初の頃は、表現という課題に対し難しさを感じている生徒が多かったが、過去の作品を鑑賞することで、『曲に合わせてステップを踏むだけがダンスではない』ということが分かり、イメージしたことをそのまま動きにすることで作品が出来上がっていく事が理解できるようになった。表現活動は、ダンス経験の有無によって差が出るのではなく、初心者でもダンスが苦手な生徒でも、積極的に取り組むことができるものである。自分の内面を、身体活動を通じて発表することに恥ずかしさや抵抗感を持たない生徒は、生き生きとした躍動的な動きができ、その内容も素晴らしい作品となった。今までのダンスに関する価値観や経験にとらわれず、型を破る活動ができた班は、舞台発表後、大きな満足感を体験している様に思われる。

また、1年生の時はまだ創作活動の手順が悪く、作品を作るまでの時間がたくさんかかっている班が多かったが、2年生ではその時間もかなり短縮され、要領よく作品が作れるようになった。

1年生の新体操の創作経験が生かされた成果だと思われるとともに、生徒間の人間関係が良好で深くなっている事も、創作活動には大切な要素だということも理解できた。

#### 4. 3年生で行う創作活動の紹介

内 容 : 体育祭で踊るダンス (クラスごとに創作)  
授業時間 : 13時間

単元目標 : ①3年間のダンス創作の集大成として、ダンス係が作ったモチーフをしっ  
かり覚えて、大きく踊れるようになる。  
②各係が責任を持って積極的に創作活動に取り組む。  
③学年共通のダンスを間違わずにシャープに踊れるようになる。  
④ダンスを通じてクラスの団結力を高め、学年全体で一つの作品を完成させる意識を持ち、体育祭で踊り終わった後の達成感や満足感を味わう。

作品のテーマ : 2010年のテーマ『流行』  
その時代を象徴する流行を、年代ごとに流行した音楽を使って表現する。  
昨年亡くなったマイケルジャクソンが再びブレイクしたように、流行とい

うものは巡り巡って再び大ヒットすることが多い。見ている人が昔を懐かく思い出してくれる作品にしたい。

- 選 曲 : 5部構成
- 1 曲目…Beat it (マイケルジャクソン)
  - 2 曲目…渚のシンドバット (ピンクレディー)
  - 3 曲目…恋愛レボリューション21 (モーニング娘)
  - 4 曲目…Someday (EXILE)
  - 5 曲目…Black Or White (マイケルジャクソン)

※テーマについては担当教員が該当する学年の生徒の雰囲気 considering して決める。

曲に関しては、アンケートなどを行いテーマに沿った選曲を生徒と一緒に決める。

- 授業計画 : ①ビデオをみて、国立競技場の雰囲気をイメージし、前記の曲の中から第1希望・第2希望を話し合いで決める。(希望が重なった場合は、ダンスリーダーにより抽選を行い、全体のクラスバランスを調整する。)

下記の各係を決める。…………… 1時間

**【ダンスリーダー】**

クラスの意見をまとめ、各係やクラス間の調整を行う。

**【ダンス係】**

モチーフや構成を考え、それをクラスのメンバーに教える。

**【衣装係】**

ダンス係と連携をとりながら、作品にあった衣装を考える。

- ②50分間の授業を前半と後半に分け、前半は学年全体で踊るダンスを教員が教えて練習する。その時間を使い、ダンス係はクラスのダンスを考える。授業の後半はダンス係が作ったモチーフをクラスの人に教える。前後半の割合は、少しずつ後半の時間を長くとする。

…………… 8時間

- ③ダンス係は構成を考え、隊形を作ってクラス全員で合わせて踊る練習をする。

…………… 2時間

- ④校庭で本番と同じ流れで踊る練習をする。(衣装を着て練習)

…………… 2時間

授業時の工夫： ①それぞれの曲ごとに、作品の作り方を変えることで、学年全体がバラエティに富んだ作品になるよう、クラスへの指示を変える。

(今年度実際に行った指示)

- ① 1曲目 …教員が創作した作品を、各クラスのダンス係の中から希望した数名の生徒で踊る。練習は昼休みや放課後を利用。
- ② 2曲目 …実際に踊っているピンクレディーのモチーフを必ず中に取り入れ、3クラスの統一感を持たせる。
- ③ 3曲目 …必ずテーマを決めてそれに合った動きを見つける。  
(アイドル・おたくの追っかけ・祭り・筋肉マッスルなどがクラスから出された。)
- ④ 4曲目 …2クラスで相談しながら、後半は共通の動きになるようにダンス係に指示をする。
- ⑤ 5曲目 …シャープにかっこ良く踊れるようにビデオを参考にして創作する。曲の後半から学年全体の生徒が加わり、全員で踊る。

- ②短時間で作品を完成させる必要があるため、ダンス係が創作活動をしている時間、その他の生徒の活動を充実させる。  
練習課題がなかったり、同じことを長時間繰り返して練習していると飽きてしまい、それが継続する事でやる気の低下にもつながってしまうので、その際には教員が課題を提供したり、衣装の話し合いをさせたりする。
- ③クラス替えの間もない時期なので、クラス間の人間関係が希薄なため、上手に創作活動が進行しないクラスが出てくる。その際は、ダンスリーダーやダンス係の意見をまとめる役に教員がまわる。
- ④広い場所で発表することを想定し、練習時から大きく踊る事を注意して練習させる。

生徒の感想： ●ダンス係の作ってくれたダンスは、私にとってとても難しく覚えるのにとっても苦勞をしましたが、家で練習したり、友達に教えてもらったりしながら踊れるようになりました。ダンスは得意ではないけれど、頑張れば何でもできるようになるということが分かったし、3年間でダンスを楽しく踊れるところまで進歩できて満足しています。

●毎年先輩方の踊っているのを見て、『ダンスが得意な人だけが目立ち、上手に見える作品は違う！』とっていました。今回ダンス係になり、み

んなが楽しくみんなが主役になれるような作品づくりを心がけ納得のゆくダンスになったと思います。練習を通してクラスがとってもまとまりました。

- 自分のダンス、自分のクラスの事しか考えていなかったのがビデオをみて、学年全体がこんな風な作品に仕上がったのだということが分かり、あらためて感動しました。踊り終わった後とビデオを見た後の2回楽しめた感じです。
- クラス全体で創作するのは本当に大変でした。意見がまとまらず、最後まで不安要素が一杯でした。私は計画的に物事が進まないのがとても嫌で、イライラする場面もありましたが、みんなで意見をすり合わせながら一つの事を完成させることの難しさを痛感しました。この失敗は文化祭でリベンジします。
- 『みんなで何かを作り上げる授業』はとても楽しい授業でした。最高の思い出になりました。

※数名の生徒の感想文の一部を抜粋

## 5. まとめ

体育祭の当日は、クラス毎に1台のビデオを設置し、発表の様子を記録に残す。体育祭後の最初の授業は、まずはこのビデオ鑑賞からである。当日の緊張感やワクワク感を思い出しながら、タイトなスケジュールの中頑張って創作し練習した1か月を振り返る。

与えられた課題を一生懸命にこなすことは得意な生徒が多いのだが、何もない白紙な状態から、物事を積み上げて完成させるという創作活動は、時間もかかり面倒なので拒絶感を示す生徒が多い。しかし、大変なことに取り組むからこそ、作り終わった後の満足感は大きなものになるし、形のないものが少しずつ形になって完成された時の喜びは大きなものになる。「生徒の自主的な活動を通じて、踊り終わった後の達成感や満足感が得られる」という経験が、1年生の時から積み重ねてきた3年間の創作活動で経験できたと思う。

3年生のダンスは、まだまだ進化できる要素をたくさん含んでいる。生徒の意見を上手にすくい上げ、生徒が生き生きとした活動ができるように今後も研究を重ね、体育祭で良い発表ができる様にしていきたい。